

上小山田町内会説明会 会議要旨

開催日時：2014年3月15日(土) 18時00分～20時15分

開催場所：上小山田コミュニティーセンター

参加者：42名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 質疑応答

〈配布資料〉

- ・新たな「ごみの資源化施設」の建設について
- ・建設NEWS 7号

●質疑概要

- ・なぜ小山田に建設するのか。(市役所跡地ではだめなのか。)

→今回の建設地の選定にあたっては、検討委員会を設け、町内会自治会等の代表、事業者、学識経験者、市民の代表等の意見を取り入れながら、町田市全体を0から選定していった結果、この地区に建設することになった。

周辺に色々な施設があることを考慮すべきという意見もあったが、最終的に検討委員会の選定経過を受け、町田市として熱回収施設等の建設地として現有施設の用地内、資源ごみ処理施設の建設地として現有施設のリレーセンターみなみと相原エリア、そしてこの地区に建設させていただく方針を決めた。

選定の過程、第一次選定の際に、都市計画で定まっているエリア・用途地域の定めにより建てられないエリアについては、除外している。市役所跡地や町田駅周辺は除外している。

- ・JR立孔の進捗状況との関連性を説明してほしい。

→立孔工事の時期は平成30年の予定とJRより聞いている。立孔自体は市有地に建設したいとの要望をいただいている。昨年9月の環境影響評価では、堺2000号線で搬出することを検討している。市としては、渋滞が激しい道路なので、通らないようにしてほしいと協議している。市民に一番影響を与えないルートはどれか、JRとともに検討している段階である。土の搬出先も決まっていない。

・決定なのか。いつ決まったのか。どこでどういう風に決定していたのか。どのような周知を行ったのか。

→検討委員会の答申2012年11月を受けて、町田市としての方針を打ち出したのは2013年2月である。資源ごみ処理施設の建設位置については、市長よりこちらにさせていただきたいの方針を出している。

その後3月に、上小山田エリアで、建設させてほしいとの説明会を開催しているが、まだエリアとしての説明であり、具体的な場所までは決まっていなかった。

今回の説明会は、道路線形がおおむねの方向性が出たので、具体的な建設地の説明ができるようになったため、皆様のご理解を得させていただきたく、開催したものである。

・選定の方法

→町田市全体を0から検討することとした。

その次に、3回のステップを踏んでいる。第1次選定では、都市計画上の制限を除去している。第2次選定は、収集運搬の効率・地形上不適切と考えられる条件にあたるところを、市民意見を入れながら除去している。第3次選定では、残ったエリアについて、まとまった面で確保できる可能性が高いところを、評価項目で採点した。維持管理・機能的な点・土地利用・経済性・余熱利用・分散化など、評価項目及び点数についても、市民意見を入れながら検討した。

それら検討委員会での結果を参考として、市として決めたものである。

・要望に対する検討には、どのくらいの期間をかけるのか。

→上小山田や下小山田から出ているご意見・ご要望を、今、回答できるように考えている。

2020年度までには、方向性を出すことは当然のことだと考えている。

→今すぐここで、道路を広げるとか、通行量を減らすなどとは言えないことは、理解してほしい。早急に検討していき、道路がネックとなって施設整備ができなくならないようにする。現段階では、これ以上のことは言えない。言える段階になったら、お話をさせていただくようにする。

・施設を作るまでに、道路を作るという考え方でよいのか。

→今要望されている道路全てが、施設建設までに整備することは難しい。稼動時には、最低限の道路を整備し、その次にどこの道路を整備するのか順番を、地元の皆様と話し合いながら進めていくことになると思う。

・いつ、どの道路を、どのように整備するのか。今年度か来年度あたりまでに市内部で検討して、スケジュールを示してほしい。

→NTTから先については、来年度検討していく予定になっている。

忠生630号線への都市計画道路まで伸ばすように、計画している。

来年度、予備設計を行う予定。ご説明できる段階になったら、お知らせしていく。

NTTまでの部分については、田中谷戸まちづくり協議会とともに、話し合いを進めていく。

常盤からのバス通りについては、検討はまだできていない状況。

本日、強い要望をいただいたので、持ち帰り、検討させていただく。

・地元としてのメリットはどこにあるのか。

→今ここで、何ができるのか答えることはできないが、市として、資源ごみ処理施設を作る以上、市ができることを、住民の方と一緒に話し合っていきたいと考えている。

●意見概要

地区連絡会は地元が了解してからできるもの。

このエリア一体の道路は、きわめて危険である。交通量もわからずに施設の検討はできない。建設地は谷底であり、拡散せずに汚い空気が溜まってしまう。

小山田区域全体の将来展望を考えること

当事者としては、施設が作られてからでは遅い。

579号線・忠生2000号線・都道・常盤からのバス通りの拡幅が済んでから施設建設

- ・NTT以東小山田小学校前

- ・都道の拡幅計画

- ・はなみずきの丘と下小山田の中に、16mの立派な道路（忠生2000号線）

- ・常盤から芝溝街道へのバス通り

土地の無償提供はいやだ。買収でやってほしい。

市の内部で、道路について検討したうえで、その部分の説明会をもう一度開いてほしい。

→NTTから先については、来年度検討していく予定になっている。

忠生630号線への都市計画道路まで伸ばすように、計画している。

来年度、予備設計を行う予定。ご説明できる段階になったら、お知らせしていく。

NTTまでの部分については、田中谷戸まちづくり協議会とともに、話し合いを進めていく。

常盤からのバス通りについては、検討はまだできていない状況。